

## 野菜のコスト指標作成のための準備会合(第3回) 結果概要

日時: 令和8年1月27日(火)10:00~11:30

### 1. コスト指標の作成方法、調査手法

・野菜は他の品目と異なり、国の生産費統計がない等、公的統計に限りがあるため、作成方法や調査手法の妥当性等を検証することが必要。コスト指標は、国が実施するコスト調査の結果を活用するものの、今後組成するコスト指標作成団体等できちんと検証、評価するプロセスが必要。

### 2. コスト指標作成団体組成の考え方

・年度内に準備会合としての一定の固めができるよう、次回会合等において具体的な中身を詰めていく。

### 3. コスト指標の活用イメージ、公表イメージ

・日々の市場取引においては、市場の価格形成機能により、その時々需給や品質に応じて取引価格が決定され、日によってはコストを上回ることもあれば下回ることもあることを周知徹底することが必要。

・コスト指標には適正な量の概念がないので、マーケットインによる需要に応じた適正数量や相場について、サプライチェーン全体で検討する場が必要。

・コスト指標公表の際は、野菜が消費者のもとに届くまでの流通構造を分かりやすく示す等、コスト構造の見せ方を工夫することが必要。

・人件費、輸送費等の費目の内訳等、公表方法については、引き続き、議論していく。

(以上)